

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-134111

(43) 公開日 平成6年(1994)5月17日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	弁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 F 7/02	3 2 0	7017-2C		
	3 1 6 A	7017-2C		
	3 1 7	7017-2C		
	3 3 2 B	9113-2C		
	3 3 3 Z	9113-2C		

審査請求 未請求 請求項の数4(全11頁)

(21) 出願番号 特願平4-309505

(22) 出願日 平成4年(1992)10月23日

(71) 出願人 591142909

マルホン工業株式会社

愛知県春日井市桃山町1丁目127番地

(71) 出願人 591189007

株式会社テクニカルアドバンス

名古屋市名東区よもぎ台三丁目1101番地

(72) 発明者 岸 勇夫

愛知県春日井市桃山町1丁目127番地 マ

ルホン工業株式会社内

(72) 発明者 吉田 信晴

名古屋市名東区よもぎ台三丁目1101番地

株式会社テクニカルアドバンス内

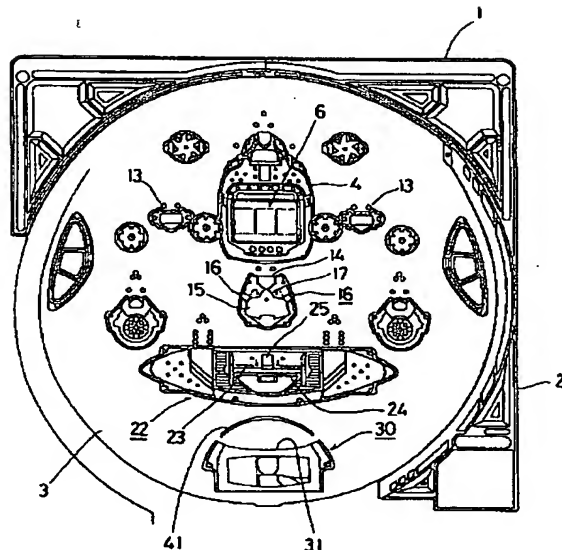
(74) 代理人 弁理士 松浦 喜多男

(54) 【発明の名称】 パチンコ機

(57) 【要約】

【目的】 図柄組合わせ表示装置が「大当たり」となった場合にあって、その後に利得を発生させるようにし、しかも、利得の発生条件を容易に認識し得るようにすること。

【構成】 図柄表示部7a、7c、7bにより構成される組合わせ表示装置6と、その始動ゲート14、17を開閉する入賞口開閉装置15を備え、普通図柄表示装置10の当り表示により、前記入賞口開閉装置15を開放駆動するようにしたものにおいて、所定期間に開放される振分け装置30に入った玉が有効玉となったときのみ、普通図柄表示装置10又は組合わせ表示装置6の当り表示の確率を、所定回の大当たり表示が発生するまで高確率に維持するようにした。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 予め定められた種々の図柄を変動表示する複数の図柄表示部によって構成され、球検知装置を備えた始動ゲートを遊技球が通過すると、球検知装置からの球検知信号に基づいて各図柄表示部が変動を開始し、停止して種々の組合わせの図柄を表示する組合わせ表示装置と、

前記組合わせ表示装置の各停止図柄が所定の組合わせである「大当り」表示となると開放作動する特別入賞口と、

球検知装置を備えた普通図柄始動ゲートを遊技球が通過すると、変動を開始し、停止して数種のうちいずれかの図柄を表示する普通図柄表示装置と、

始動ゲートへ遊技球を案内する開放位置と、閉鎖位置とに変換されるものであって、前記普通図柄表示装置が所定の「当り」表示の場合に開放作動する入賞口開閉装置とを備えたものにあって、

流入された玉を無効玉と有効玉とに振分ける振分け装置と、

振分け装置への玉の流入を制御する流入規制手段と、

振分け装置に流入した玉が有効玉となったときに、普通図柄表示装置または組合わせ表示装置の当り確率を、所定期間まで高確率に維持する制御指令手段とを具備したことを特徴とするパチンコ機。

【請求項2】 前記流入規制手段を、

振分け装置上に配設されて、振分け装置の流入口を覆って玉の流入を遮断する遮蔽位置と、退避して玉の流入を可能とする開放位置とに変換される開閉蓋装置と、特定時期にのみ前記開閉蓋装置を所定時間開放位置へ変換駆動するタイミング駆動装置とで構成したことを特徴とする請求項1記載のパチンコ機。

【請求項3】 前記流入規制手段を、振分け装置上に配設されて、下方へ開口し、入賞玉を前記振り分け装置の流入口へ供給する入賞口開閉装置で構成したことを特徴とする請求項1記載のパチンコ機。

【請求項4】 前記流入規制手段を、

振分け装置上に配設されて、打玉を捕捉して滞留する保持位置と、滞留玉を振分け装置に供給する開放位置とに変換される供給制御装置と、特定時期にのみ供給制御装置を供給位置へ変換駆動するタイミング制御装置とで構成したことを特徴とする請求項1記載のパチンコ機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、所定の組合わせにより特別入賞口を開放させる組合わせ表示装置を備えたパチンコ機に関する。

【0002】

【従来の技術】 予め定められた種々の図柄を変動表示する複数の図柄表示部によって構成され、球検知装置を備えた始動ゲートを遊技球が通過すると、球検知装置から

2

の球検知信号に基づいて各図柄表示部が変動を開始し、停止して種々の組合わせの図柄を表示する組合わせ表示装置と、該組合わせ表示装置の各停止図柄が所定の組合わせである場合に開放作動する特別入賞口とを備えたものは、「フィーバー式遊技機」と称され、種々提案されている。

【0003】 また図柄ゲートを遊技球が通過すると変動を開始し、停止して種々の図柄を不特定表示する普通図柄表示装置と、始動ゲートに連通して、開閉翼片対が逆八形傾動して始動ゲートへ遊技球を案内する開放位置と、開閉翼片対が起立する閉鎖位置とに変換されるものであって、普通図柄表示装置の停止図柄が所定の図柄である場合に、開放位置に変換駆動される入賞口開閉装置とを備え、該入賞口開閉装置の開放により、始動ゲートへの遊技球の通過率を高めて、組合わせ表示装置の駆動頻度を向上させるようにしたものも提案されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 かかるパチンコ機にあって、種々の条件が満たされたときに、普通図柄表示装置の当り図柄または組合わせ表示装置の当り図柄の発生確率を向上させて、遊技者に利得を生じさせるようにし、変化に富んだパチンコ遊技を生じさせるようにした構成が提案され得るが、この利得の条件発生を、ソフト内部のみで生じさせると、遊技者に疑念を生じさせたり、初心者にはその条件が解りにくく、挑戦意欲を高揚させ難いという問題点がある。本発明は、上記高確率への移行条件を明瞭に理解し、確認し得る構成を備え、所定の利得を遊戯者に供与して、遊技の興趣を増大させる得るパチンコ機の提供を目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、予め定められた種々の図柄を変動表示する複数の図柄表示部によって構成され、球検知装置を備えた始動ゲートを遊技球が通過すると、球検知装置からの球検知信号に基づいて各図柄表示部が変動を開始し、停止して種々の組合わせの図柄を表示する組合わせ表示装置と、前記組合わせ表示装置の各停止図柄が所定の組合わせである「大当り」表示となると開放作動する特別入賞口と、球検知装置を備えた普通図柄始動ゲートを遊技球が通過すると、変動を開始し、停止して数種のうちいずれかの図柄を表示する普通図柄表示装置と、始動ゲートへ遊技球を案内する開放位置と、閉鎖位置とに変換されるものであって、前記普通図柄表示装置が所定の「当り」表示の場合に開放作動する入賞口開閉装置とを備えたものにあって、流入された玉を無効玉と有効玉とに振分ける振分け装置と、前記振分け装置への玉の流入を制御する流入規制手段と、前記振分け装置に流入した玉が有効玉となったときに、前記普通図柄表示装置または組合わせ表示装置の当り確率を、所定期間まで高確率に維持する制御指令手段とを具備したことを特徴とするものである。

【0006】前記流入規制手段は、前記振分け装置上に配設されて、振分け装置の流入口を覆って玉の流入を遮断する遮蔽位置と、退避して玉の流入を可能とする開放位置とに変換される開閉蓋装置と、特定時期にのみ前記開閉蓋装置を所定時間開放位置へ変換駆動するタイミング駆動装置とで構成し得る。

【0007】また、前記流入規制手段は、振分け装置上に配設されて、下方へ開口し、入賞玉を前記振り分け装置の流入口へ供給する入賞口開閉装置で構成し得る。

【0008】さらには、前記流入規制手段は、振分け装置上に配設されて、打玉を捕捉して滞留する保持位置と、滞留玉を振分け装置に供給する開放位置とに変換される供給制御装置と、特定時期にのみ供給制御装置を供給位置へ変換駆動するタイミング制御装置とで構成し得る。

【0009】

【作用】遊技球が始動ゲートを通ると、組合わせ表示装置が駆動して各図柄が始動し、停止して、種々の組合わせの図柄を表示する。そしてこの図柄が例えば同じ図柄等所定の組合わせの図柄となった場合（「大当り」表示）には、特別入賞口が開放して、遊技者に大きな利得を生じさせることとなる。

【0010】そして、大当り作動が終了し、組合わせ表示装置の開放が終了するのと同期させるなど、特定の時期に、上述で例示した流入規制手段により、振り分け装置の流入口への玉供給がなされ、この玉が有効玉として振り分けられた場合には、普通図柄表示装置または組合わせ表示装置の当り確率を、所定時期まで高確率に維持される。従って、普通図柄表示装置が高確率となる場合には球の入賞捕捉率が向上して、玉減少が押えられ、組合わせ表示装置が高確率となる場合には大当りの可能性が高まる。

【0011】

【実施例】添付図面について本発明の実施例を説明する。図1は、第一実施例のパチンコ機1の正面図であって、その機枠2の図示しない下部には玉受皿と、玉発射用の回転式ハンドル等が設けられる。遊技盤3の盤面中央には、図2で拡大して示すようにセンターケース4が配設され、該センターケース4の中央に形成した装着窓孔5に、組合わせ表示装置6を構成する三個の7セグメント指示器からなる図柄表示部7a、7b、7cが並設されている。前記図柄表示部7a、7b、7cは、LED又は液晶によって構成され、「0」～「9」、「A」、「J」、「L」…等、数字及びアルファベットからなる7セグメント指示器で表現可能な図柄が表示される。また装着窓孔5の直下部には、4個のパイロットランプからなる待機記録ランプ列9が設けられている。

【0012】さらには前記センターケース4の上部には7セグメント指示器からなる普通図柄表示装置10が配設されている。この表示図柄は例えば「7」を含む3図

柄とし、「7」表示の場合には当たりとする。この普通図柄表示装置10は、例えば種々の色が表示される複数のLEDランプからなり、特定の色のLEDランプが点灯した場合には、これを当たりとするようにしても良い。

【0013】その他、前記センターケース4の上部にも入賞口12が設けられる。

【0014】センターケース4の両側方には、光電スイッチ、リミットスイッチ等により構成される球検知スイッチS1（図14参照）を備える普通図柄始動ゲート13、13が設けられている。この普通図柄始動ゲート13、13に、遊技球が通過して該球検知スイッチS1による球検知信号が発生すると、中央制御装置CPUの指令により普通図柄表示駆動回路を介して普通図柄表示装置10が駆動開始し、当り又はハズレ表示をすることとなる。

【0015】さらに組合わせ表示装置6の直下位置には始動ゲート14が設けられ、該始動ゲート14のさらに直下部には入賞口開閉装置15を配設し、その内部も始動ゲート17としている。この入賞口開閉装置15はその開閉翼片対16、16の起立状態で、始動ゲート17を遮蔽する閉鎖位置と、開閉翼片対16、16が逆八形傾動して始動ゲート17へ遊技球を案内する開放位置とに電気的駆動手段を介して変換制御されるものである。この入賞口開閉装置15は、普通図柄表示装置10が当り表示となると開放駆動する。

【0016】そして、前記始動ゲート14、17は、光電スイッチ、リミットスイッチ等により構成される球検知スイッチS2（図14参照）を備え、通常の入賞口と同様に、その遊技球の通過に伴って所定数の景品球が発生させると共に、球検知スイッチS2による球検知に伴って、中央制御装置CPUの指令により図柄表示駆動回路を介して前記組合わせ表示装置6を駆動する。尚、始動ゲート17（入賞口開閉装置15）は、後述するように、振り分け装置30への玉供給口として用いることもでき、この場合には振り分け装置30を介して、景品玉が発生させることとなる。

【0017】前記入賞口開閉装置15のさらに下方には、幅広の特別入賞口23を備えた入賞装置22が配設されている。この入賞装置22は、蓋体24をソレノイドにより前後方向に開放することにより、該蓋体24の案内作用により、特別入賞口23に遊技球を案内する公知構成からなり、前記特別入賞口23の中央部を特定領域25として、後述するように該特定領域25に遊技球が入ると、連続開放作動を生ずるようにしている。

【0018】次にかかる構成の作動につき説明する。遊技盤3に遊技球が打ち出されて、普通図柄始動ゲート13、13を通過すると、前記普通図柄表示装置10が駆動開始して、例えば「7」を含む3図柄で変動開始し、約10秒で停止する。そして「7」表示の場合には、これ

を当りとする。この当りの場合には、前記入賞口開閉装置15が開放状態となって開閉翼片対16、16が約5.8秒間開放する。尚、この当り作動は往復開閉作動としても良い。また、普通図柄始動ゲート13、13の通過は最初の4個まで記憶されて順次実行される。

【0019】そして入賞口開閉装置15が開放状態となると、前記始動ゲート17への流入が可能となり、組合わせ表示装置6の作動頻度が向上する。この開放した入賞口開閉装置15に玉が1個入賞すると閉鎖状態となる。

【0020】前記始動ゲート14、17を遊技球が通過すると、景品球の供給と共に組合わせ表示装置6が駆動する。尚、連続的に通過した場合には、待機記録ランプ列9が順次点灯し最高四回まで保留される。

【0021】前記始動ゲート14、17への球通過に伴って、組合わせ表示装置6が駆動すると、図柄表示部7a、7b、7cは変動を開始し、約8秒程度経過すると、図柄表示部7a、7b、7cの順番に変動が停止する。このとき前記図柄表示部7aと図柄表示部7bの図柄が一致した場合には、図柄表示部7cが低速スクロール又はその他の機械的作動を生ずる等、リーチ状態に対応する特別な作動を生じて、遊戯者の高揚感を増長させるようにした後、図柄表示部7cが停止する。このとき、図柄表示部7cが異なった図柄で停止した場合には元の状態に復帰する。

【0022】一方、この図柄表示部7a、7b、7cが例えば「1、1、1」、「2、2、2」、「3、3、3」、「4、4、4」、「A、A、A」等、数字又はアルファベットからなる図柄が同一となる等の大当り表示となった場合には、図14の音処理装置を介してスピーカーが鳴音を発すると共に入賞装置22のソレノイドが駆動し、蓋体24が前方に傾動して特別入賞口23が開放し、約10個の遊戯球が入賞するか、約29.5秒間経過するかのどちらかの条件を満足すると、一旦開放動作を終了する。この特別入賞口23にあっては、特定領域25を通過した時には連続駆動し、その開放動作終了後に再び特別入賞口23が開放する。この連続作動の回数は初回開放を含め最高16回までとする。

【0023】また、「2、2、X」、「4、4、X」、「6、6、X」（Xは変数）などの組合わせにより、特別入賞口23を短時間、また少回数開放する小当りとするようにしてもよい。さらには上述の構成では、図柄表示部7a、7b、7cは同一数字となった場合を「大当り」としているが、例えば連続数字を大当りとするようにしても良い。

【0024】上述の一連の作動は図14で示す中央制御装置CPU等からなる制御指令手段により、容易に実行され得る。

【0025】次に本発明の要部について説明する。前記

入賞装置22の直下位置には、図4〜7で詳細に示す振分け装置30が配設されている。かかる振分け装置30の構成につき説明する。振分け装置30は上面が上方に開口された流入口31を備える。この流入口31は案内円溝32を備え、中央に透孔33が形成されている。そして、前記案内円溝32の下方には、同心状に同じく案内円溝34を備えた底板が設けられている。前記案内円溝34の後側部には、該案内円溝34の接線方向に玉を案内する放流路36が形成され、前記透孔33は案内円溝32の下面に形成された受樋35により、放流路36と上下で連通している。また前記案内円溝34には、中央部前縁の有効孔37と後方左右の無効孔38、38とが形成されており、さらに、有効孔37は玉検知スイッチS3（図14参照）が具備された有効樋39に、無効孔38、38は無効樋40、40に連通している。

【0026】かかる構成にあって、前記流入口31の前縁部が、遊技盤3から突出して、実質的な口部となり、ここに入った玉は案内円溝32の透孔33から受樋35を経て、該放流路36上に落下する。そして放流路36の案内作用により、玉は案内円溝34に接線方向から流入して公転し、有効孔37、無効孔38、38のいずれかに流入する。この有効孔37に入った玉は有効玉となる。

【0027】かかる構成の振分け装置30の直上には前記流入口31の開閉制御を行なうために、開閉蓋装置43が配設されている。この開閉蓋装置43は図3で示すように、流入口31の前縁上で遊技盤3前面から進退可能に配設された円弧状蓋片41と、該円弧状蓋片41を流入口31を遮蔽する前進位置と、遊技盤3から除去して打玉の流入を可能とする退避位置に変換するソレノイド42とで構成される。またこの蓋片41の退避作動は、前記入賞装置22の開放作動終了後に行なわれる。そして、このタイミング制御は、図14で示す中央制御装置CPUにより行なわれ得る。すなわち、中央制御装置CPUによってタイミング制御装置が構成されることとなる。

【0028】かかる開閉蓋装置43による振分け装置30の開放は、2秒間程度行なわれる。そして、有効孔37に入って、玉検知スイッチS3が玉検知して有効玉となった場合には、普通図柄表示装置10が入賞口開閉装置15を開放させる「7」で変動停止する当り確率が10倍となる。

【0029】すなわち、普通図柄表示装置10が当りを表示する確率は、見掛け上では1/3であるが、ソフト上（実際上）では通常時にあって1/16であり、これが10/16の開放確率に向上することとなる。これにより開閉規制装置15の開放頻度が飛躍的に高くなり、これに伴って組合わせ表示装置6の作動頻度が向上し、再び大当りとなる確率が高くなると共に、景品玉の供給により、玉の漸減傾向が止まり玉持ちが良くなる。

【0030】次に、前記普通図柄表示装置10の当り制御手段を、図14に従って説明する。中央制御装置CPUに接続された記憶装置ROMには、「0」～「15」までの16コマを循環する乱数値が格納され、前記普通図柄始動ゲート13、13への球通過にともない、そのいずれかを選出する。そしてこの値が「15」の場合のみを当りとし、それ以外をハズレと判定し、普通図柄始動ゲート13、13への球通過直後、又は通過記憶された場合には、その記憶数が消化されると普通図柄表示装置10の変動が開始され、前記判定結果に基づいて、当りの場合には普通図柄表示装置10を駆動停止して「7」表示する。

【0031】また、玉検知スイッチS3のオン作動により高確率となった場合には、前記乱数値のうち「6」～「15」の10コマを当りとする。すなわち、通常の確率1/16が、10/16となつて、確率が10倍となる。そして、同様に、その判定値に基づいて普通図柄表示装置10を駆動停止することとなる。

【0032】この高確率状態は次の大当りまで継続させるようにする。尚、前記振分け装置30の開放直前の大当りの表示内容により、継続条件を変えるようにしても良い。例えば、「7、7、7」の当り表示の場合には、次の大当りが2回発生するまで高確率が維持されるようにし、他の当たり表示の場合には、次の大当りで終了するようにする。

【0033】また前記振分け装置30の有効孔37を複数形成して、その孔の種類により大当りの継続回数を変化させるようにしても良い。

【0034】さらには前記「7、7、7」の当り表示の場合には、開閉蓋装置43を開放状態としないで、無条件で高確率としても良い。

【0035】同様な条件因子により、高確率状態を例えば通常状態に比して10倍、5倍とする等、複数設定し、「7、7、7」の当り表示の場合には10倍、他の当たり表示の場合には5倍というように、表示内容により確率内容を変化させるようにしても良い。

【0036】図8は第二実施例を示し、前記入賞口開閉装置15を下方へ開口するようにし、前記入賞口開閉装置15の直下位置に上述の振分け装置30を配設するようにしたものである。

【0037】かかる構成にあっては、前記入賞口開閉装置15が開放駆動し、この開放状態で流入した玉は全て、前記振分け装置30に流入して、有効玉と無効玉とに振り分けられることとなる。

【0038】この場合に有効玉となった場合には、前記組合わせ表示装置6の当たり確率を向上させるようにする。この組合わせ表示装置6の当たり確率は、例えば1/515程度とした場合には、これを10倍程度向上させる。

【0039】図9は第三実施例を示し、入賞装置50の構成を変えると共に、該入賞装置50の直下位置に振分

け装置30を配設したものである。

【0040】前記入賞装置50の構成を図10～13に従って説明する。基板51の左右には、始動ゲート52、52が配設される。この始動ゲート52、52に玉が入賞することにより、景品玉が発生すると共に、組合わせ表示装置6が駆動する。

【0041】また前記基板51の中央部には、入賞装置50が配設される。この入賞装置50は、玉受部53の入口の両側には、開閉翼片55が枢支される。前記開閉翼片55はその支軸の回動操作をソレノイド56によりリンク57を介して制御するようにし、これにより開閉作動が行なわれる。また前記玉受部53上には特定領域となるセンサー（図示せず）が具備されたゲート58が配設される。このゲート58は図9で示すように開閉翼片55が遮蔽した状態で隠蔽される。

【0042】さらに、前記玉受部53の下部は開口しており、かかる開口部59を遮蔽するように、ソレノイド60によって開閉制御される係止案内板61が配設される。この係止案内板61は、遮蔽状態で、流入玉を後方へ案内して、所定の流下路へ供給する役割を備える。また前記ゲート58にはソレノイド63により開閉制御される保留板64が配設され、該保留板64の伸出状態で、ゲート58を遮蔽して玉1個の滞留を可能としている。この入賞装置50は前記組合わせ表示装置6が当たり状態のときに、玉を捕捉する特別入賞口となると共に、振分け装置30への玉を制御する供給制御装置の役割を有する。

【0043】一方、前記入賞装置50の直下には振分け装置30が配設される。この振分け装置30の流入口31には、前記玉受部53の開口部59からの玉のみが流入可能となるように、釘等により、側方からの玉を規制している。

【0044】前記構成につき説明する。常態にあっては、前記係止板61は伸出状態となっており、開口部59が遮断される。尚、前記保留板64は退避状態となっており、ゲート58は開放されている。また、前記開閉翼片55も遮蔽され、従って、玉の流入が阻止される。そして、組合わせ表示装置6が当たり作動が生ずると、前記ソレノイド56が駆動して図10、11で示すように開閉翼片55が開放され、前記ゲート58への玉の流下が可能となつて、特定領域の役割を生ずると共に、開閉翼片55上に多数の玉が捕捉される。

【0045】この開閉翼片55には、約10個の遊技球が入賞するか、約29.5秒間経過するかのどちらかの条件を満足すると、一旦開放作動を終了する。またゲート58を通過した時には連続駆動し、その開放作動終了後に再び開閉翼片55が開放する。この連続作動の回数は初回開放を含め最高16回までとする。

【0046】そして、この作動が16回目となると、ソレノイド63が駆動して、保留板64が進出し、図12で

示すように、ゲート58に一個の玉xの滞留を可能とする。そして、所定個数が流入するか又は所定時間が経過すると、ソレノイド56が駆動解除されて、前記開閉翼片55が閉鎖位置に復帰すると共に、ソレノイド60、63が駆動し、係止板61、保留板64が開放位置に退避し、図13で示すように、ゲート58に滞留していた玉xが係止板61から振分け装置30の流入口31に落下する。そして、該玉xは、有効孔37、無効孔38、38のいずれかに流入し、有効孔37に入った場合には、上述した図15で示すように、普通図柄表示装置10が入賞口開閉装置15を開放させる「7」で変動停止する当り確率が10倍となる。この有効玉による作用効果、及び変形例は、第一実施例で説明したのと同様であり、詳細な説明を省略する。尚、かかる第三実施例の変形例として、供給制御装置を、前記入賞装置50とは別に振分け装置30上に設けることもできる。

【0047】上述の第三実施例の一連の作動は図14で示す中央制御装置CPU等からなる制御指令手段により、容易に実行され得る。

【0048】

【発明の効果】本発明は、上述したように、図柄表示部7a、7c、7bにより構成される組合わせ表示装置6と、その始動ゲート14、17を開閉する入賞口開閉装置15を備え、普通図柄表示装置10の当り表示により、前記入賞口開閉装置15を開放駆動するようにしたものにあって、所定期間に開放される振分け装置30に入った玉が有効玉となったときにのみ、普通図柄表示装置10又は組合わせ表示装置6の当り表示の確率を、所定回の大当り表示が発生するまで高確率に維持するようにした。このため球の減少が抑止され、さらには組合わせ表示装置6の駆動頻度が向上して、遊技者に所定の利得が新たに付与されることとなり、大当り後の新たな期待感を遊技者に与えられ、しかもその利得の供与が変化に富んだものとなる。さらには、この確率の移行条件を振分け装置30の振分け作用に基づくようにしたから、遊戯者は、変動条件を容易に理解でき、挑戦意欲を刺激されて、パチンコ遊技の興趣が一層高められ得る等の優れた効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一実施例のパチンコ機1を示す正面

図である。

【図2】センターケース4の正面図である。

【図3】開閉蓋装置43の分離斜視図である。

【図4】振分け装置30の示す縦断正面図である。

【図5】図4A-A断面図である。

【図6】振分け装置30の示す平面図である。

【図7】図4B-B断面図である。

【図8】本発明の第二実施例のパチンコ機1を示す正面図である。

10 【図9】本発明の第三実施例のパチンコ機1を示す正面図である。

【図10】入賞装置50の正面図である。

【図11】入賞装置50の縦断正面図である。

【図12】入賞装置50の縦断側面図である。

【図13】入賞装置50の他の作動状態を示す縦断側面図である。

【図14】制御指令手段を示すブロック図である。

【図15】普通図柄表示装置10の当り制御を示すフローチャート図である。

20 【符号の説明】

1 パチンコ機

6 組合わせ表示装置

7a、7b、7c 図柄表示部

10 普通図柄表示装置

13、13 普通図柄始動ゲート

14、17 始動ゲート

15 入賞口開閉装置

23 特別入賞口

30 振分け装置

30 31 流入口

37 有効孔

38 無効孔

40 開閉蓋装置

50 入賞装置

53 玉受部

55 開閉翼片

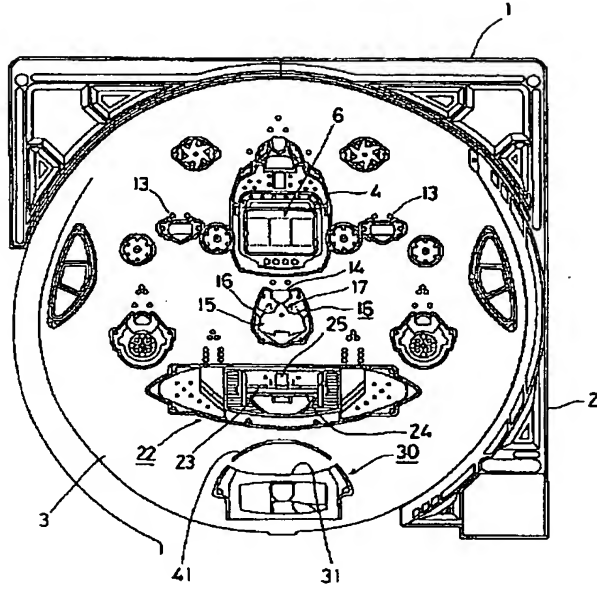
58 ゲート

59 開口部

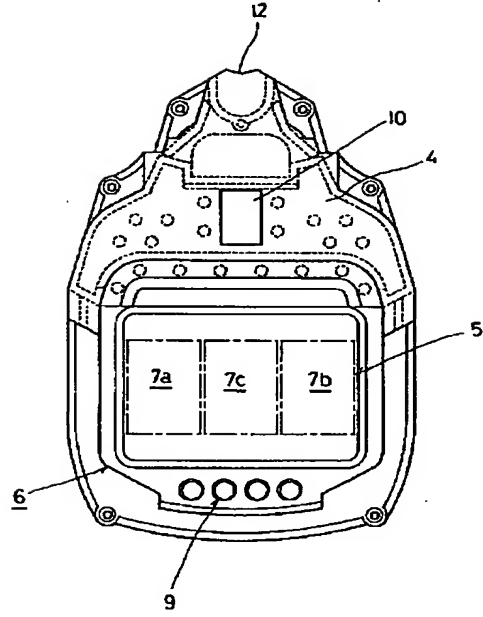
61 係止板

40 64 保留板

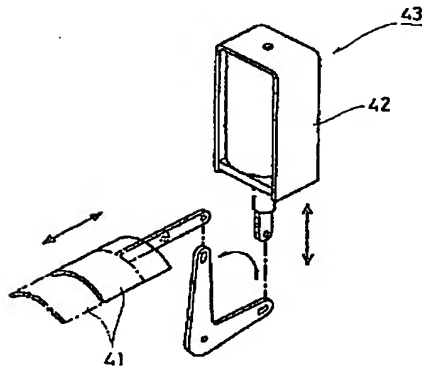
【図1】



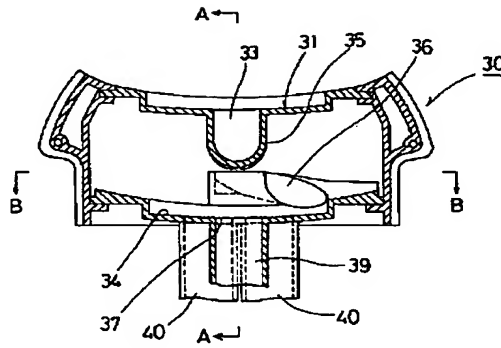
【図2】



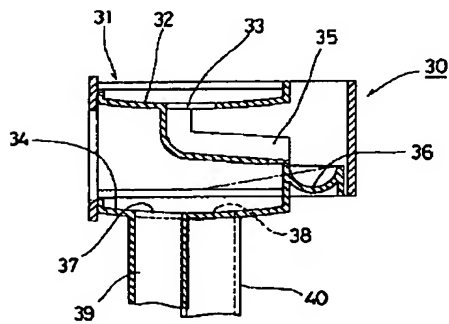
【図3】



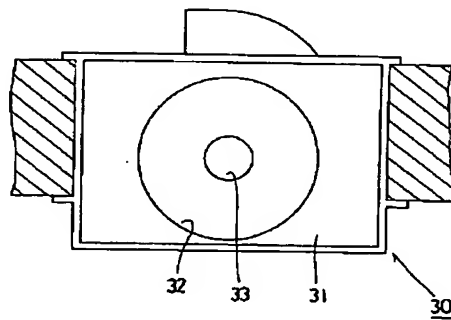
【図4】



【図5】

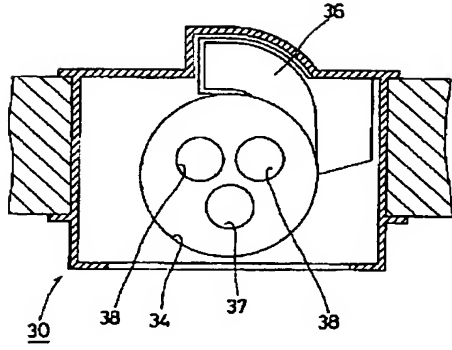


【図6】

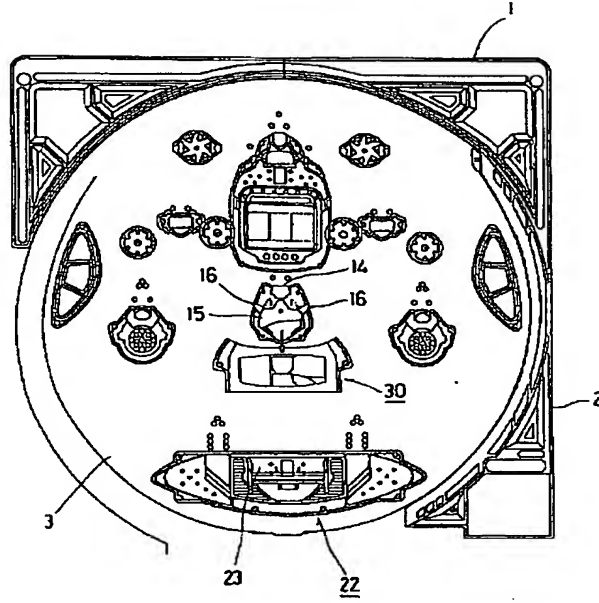




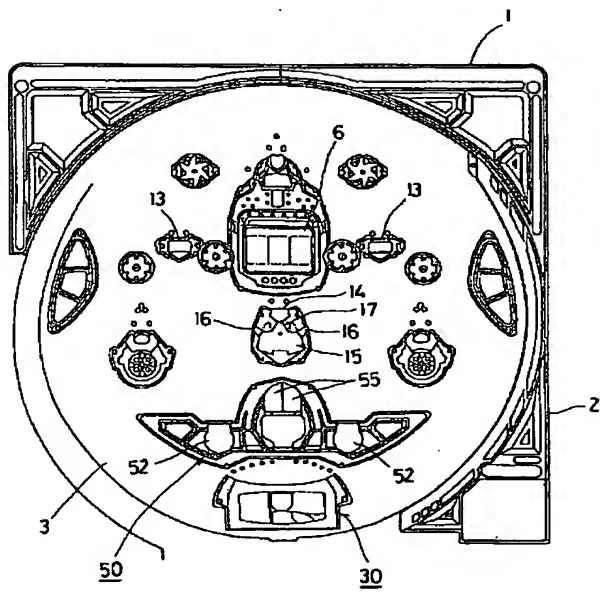
【図7】



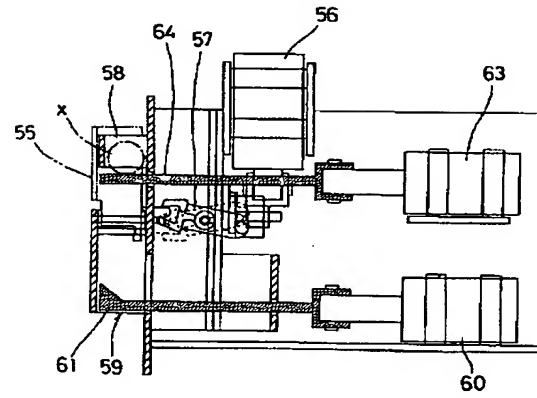
【図8】



【図9】

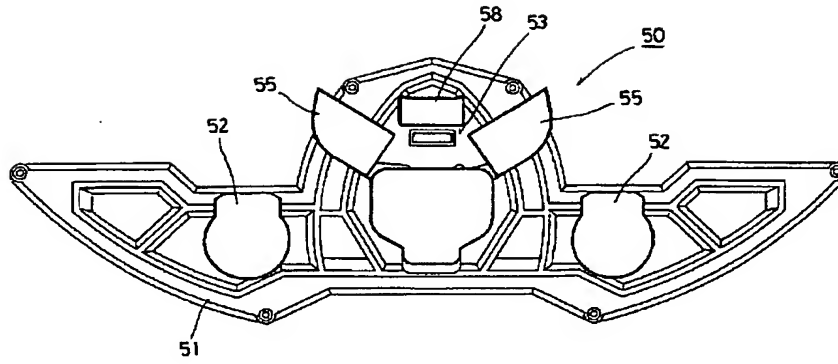


【図12】

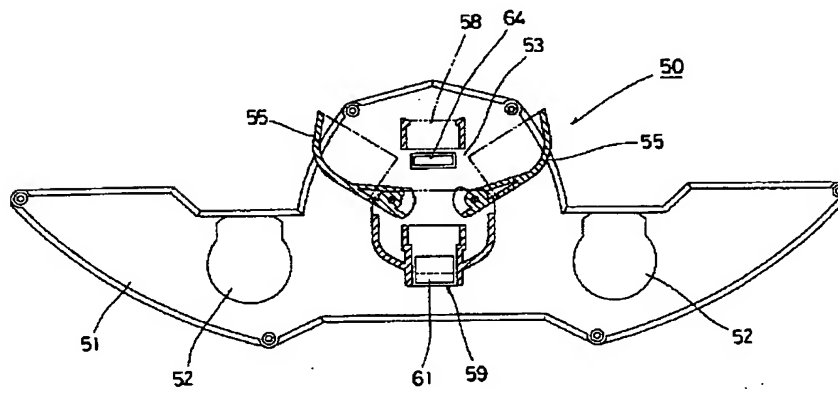




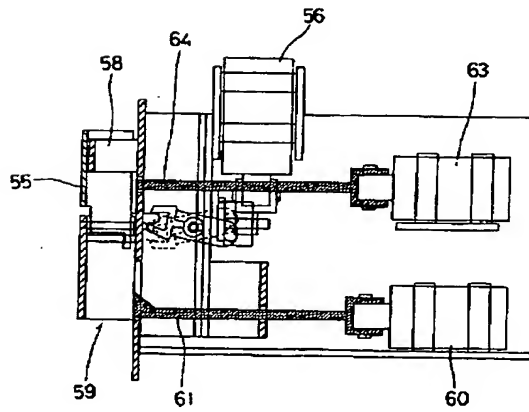
【図10】



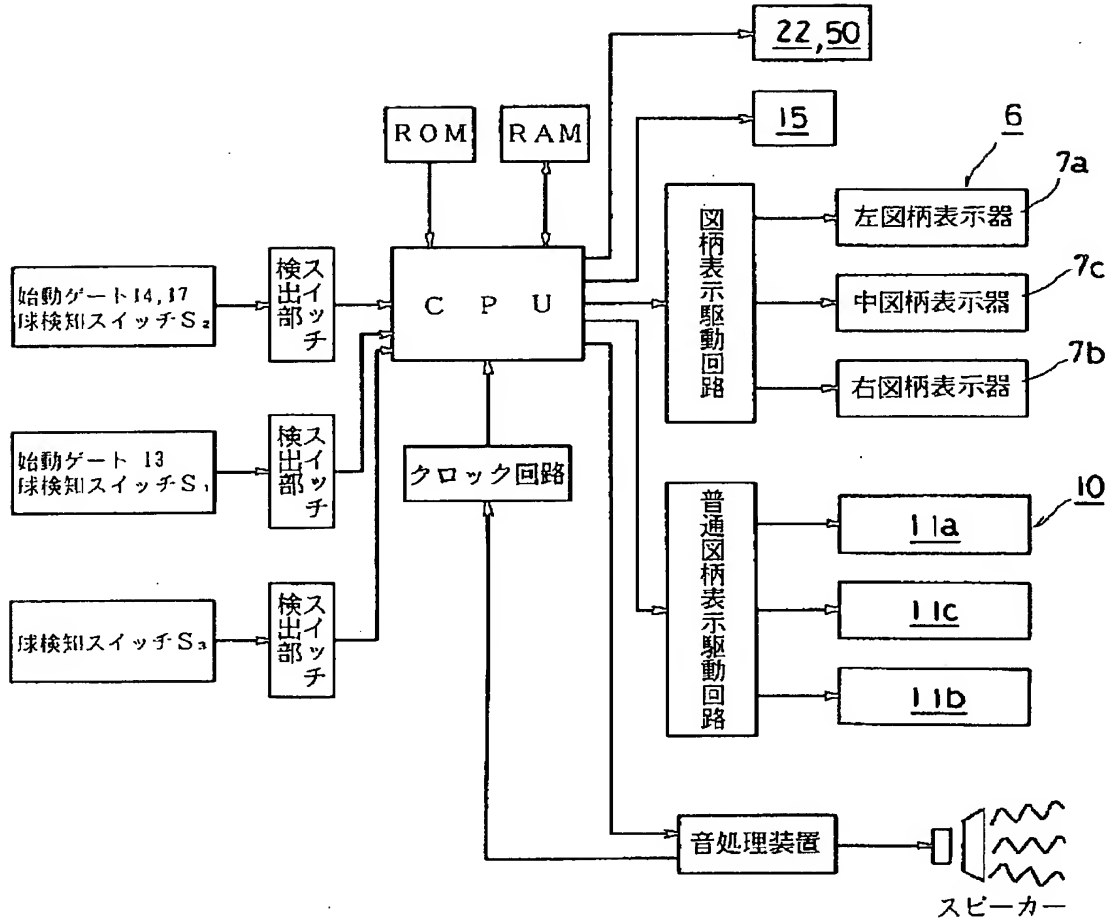
【図11】



【図13】



【図14】



【図15】

